

平成 22 年度 入学式式辞

今年は、例年より早く桜が満開となり、生きとし生けるものすべてが躍動を始める春がやってまいりました。春は希望の季節です。この心弾む佳き日に、大阪府立住吉高等学校は第 65 回入学式を挙行することになりました。ご多用のところ、ご来賓としてご臨席賜りました大阪府教育委員会ご代表をはじめ、平素よりご支援を賜ります大阪大学、大阪教育大学の先生方、地元中学校のご代表、本校の PTA、同窓会のご代表の皆様、厚くお礼を申し上げます。

ただ今は、国際文化科 160 名、総合科学科 120 名、計 280 名の入学を許可いたしました。保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。今後は、保護者の皆様と教職員が、互いに連携を深めながら、生徒の成長を共に支え、教え導きたいと存じます。本校教職員一同は、これからの 3 年間責任をもって生徒の指導に当たることを皆様にお約束致します。

本校は時代の要請に応えるべく、平成 17 年、グローバルな国際的社会で活躍できる人材育成と、科学技術を基盤とするわが国に不可欠な優秀な人材の育成をめざして「国際・科学高校」として改編されました。平成 19 年度より、文部科学省から全国の最先端の科学教育を実践する学校としてスーパー・サイ

エンス・ハイスクールの指定を受け、また平成 20 年度からはグローバル時代の先進的な国際教育を行う学校としてユネスコ・スクールの指定を受けています。現在、本校の国際文化科と総合科学科は、それぞれの指定にふさわしい教育活動を多数実践しています。生徒全員の活動として、海外へのスタディツアーに加えて、国際文化科では多数の外国語指導者のもと英語での体験合宿、総合科学科では科学の楽しさと奥深さを体験する実験合宿を実施します。また、希望者対象の韓国やオーストラリアへの語学研修も行います。これら様々な活動を通して、生徒が立派に、大きく成長してくれることを期待するものです。本校の教育方針と教育目標、また様々な教育活動につきまして保護者の皆様のご理解と、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校第 65 期生として入学された 280 名の皆さん、住吉高校へのご入学を心からお祝い申し上げます。教職員並びに在校生は皆さん方をおおいに歓迎致します。我々は、優秀な皆さん方と共に学習し、切磋琢磨することで互いを高め合うことができることを大変うれしく思います。

皆さんは、高い倍率の選抜を突破し、見事、住吉高校に合格されました。これからは、大いに自信をもって、胸を張って高校生活を踏み出して頂きたいと思います。皆さんの人生は、少なくとも今までは順調に過ごしてきたと思います。素晴らしいことです。しかし、それは自分自身の力だけで達成できたので

しょうか。現在の皆さん方は、保護者や中学校の先生方が温かく見守り、あらゆる場面で皆さんを支え、皆さんの才能を引き伸ばしてこられた結果だと思えます。

今日、皆さん方は自立する時を迎えました。高校時代は変化の始まりとも言えます。これからの高校生活の中、学習や部活動など様々な面で困難なこと、思い悩むこと、いわゆる「逆境」と思えることもあるでしょう。この逆境は、それぞれの人間に対して、その成長のために必要な試練を与えていると考えられなくもありません。

現在 NHK で「龍馬伝」というドラマが人気を集めていますが、坂本龍馬とほぼ同じ時代に長州、現在の山口県の萩で、その後の日本に大きな影響を与えた吉田松蔭という思想家で教育者が現れました。彼は、「順境なる者は怠りやすく、逆境なる者は励みやすし、怠ればすなわち失い、励めばすなわち得るは、これ人の常なり。」と言っています。「人間は、順調で恵まれているときはともすれば努力を怠り、恵まれていないときは逆境に打ち勝つために努力する。努力しなければ失うものも大きく、励んで努力をすれば得るものも大きい」というのです。人間は、苦しいとき、逆境のときこそチャンスが巡ってきている。努力する時だということを示唆しています。

さて、現在の社会には、社会や経済をはじめとするあらゆる面でのグローバル化と、知識の量が社会や経済の発展の基礎となる知識基盤型社会が到来した

とされています。このような社会で生きるには、グローバルな社会に通用する国際感覚と、一人ひとりが十分な知識を身につけ、十分な知識に裏付けられた行動や判断が求められるのです。言うまでもなく国際・科学高校である本校では、優秀な教職員の指導により、皆さん方が将来社会で活躍するに値する十分な知識を身につけることができます。高校生活の中心は教科の学習であり、本校では、週の3日、1日7限の授業が行われます。1時間、1時間の授業はとても大切です。一つとして疎（おろそ）かにできません。授業は常に前向きかつ、真剣に取り組み、十分な予習と復習は欠かせません。玉は磨かないと光りません。皆さん方は、天から授かった希有の才能を持って居るではありませんか。将来きっと光輝くことを信じて、自分を逆境に追い込み、そして逆境に打ち勝つために、自分を磨く努力を忘れないでほしいと思います。

終わりに本校の90年近い伝統となっている校風、自主自律の精神についてお話しします。この自主自律について、皆さん方は間違った解釈をしてはいけません。自主自律は、「何でも自分の思い通りに勝手に決めてよい」ということでは決してありません。学校という集団、あるいは学校という限定された社会の中では、集団や社会の維持に必要なルールやマナーの中で、自主自律の精神は存在しているのです。具体的な話をしますと、本校では当然ながら遅刻は認めていません。遅刻は指導の対象です。また、私服よりも推奨服を強く進めて

います。自分を律することができる人間が、社会に通用する人間だということ
を自覚してください。本校の自主自律は、部活動や学級活動、自治会活動はも
とより、本校の最大の特色である国際活動の中で存分に力を発揮して欲しいと
思います。

新入生の皆さん、今日の日を忘れずに、心身ともに健康で有意義な高校生活
をこの住吉高校で送ることを心から期待して入学式の式辞といたします。

平成 22 年 4 月 8 日 大阪府立住吉高等学校長 紺野 昇